



〒611-0021
京都府宇治市宇治里尻36-26
TEL 0774-25-2500(代)
FAX 0774-25-2353
URL <http://www.takedahp.or.jp/>

かけはし

外科特集

No.75 平成30年12月31日発行

宇治武田病院グループ経営理念

●思いやりの心

宇治武田病院グループ基本方針

- ブリッジ・ザ・ギャップス
- 患者さんの権利の尊重
- 地球にやさしい環境づくり

宇治武田病院 基本方針

1. 安全で質の高い医療の提供のために日々研鑽し、技術と知識の習得に努めます。
2. 地域の医療機関、福祉、介護施設との連携を深め、地域医療の中核を担っていきます。
3. 患者さんとの良い信頼関係を築き、人間としての尊厳を重んじる医療を行います。
4. 患者さんを「私たちの家族」と考え、最良の結果が得られるように最善の努力を払います。
5. 環境にやさしい病院を目指します。
6. 働きやすい労働環境を創造するために、お互いを尊重する人間性豊かな医療人を目指します。
7. 仕事を通じて社会貢献できるよう努めます。

さまざまな疾患に対応

消化器手術を中心に、一般外科、救急医療、緩和医療、乳腺疾患の治療など、幅広い医療を提供しています。基本的には4人の常勤外科医で、胃がん、大腸がん、直腸がん、肝がん、膵がん、胆のうがん等の悪性腫瘍の手術や、胆石、虫垂炎（盲腸）、腸閉塞、鼠経ヘルニア（脱腸）、肛門疾患などの治療を行っております。科学的な医学のエビデンスを重視して、安全でしかも根治性の高い治療法を提案します。具体的な治療内容を本人とご家族様にわかりやすく説明し、十分に納得された上で、手術を承諾、同意いただくことを基本方針としています。可能な限り患者さんのご希望に沿った治療を提供できるよう努めております。

低侵襲な腹腔鏡下手術

従来は、開腹でいろいろな臓器を直接手で触れながら手術していましたが、1990年ごろから、日本でも腹腔鏡下手術が行われ始めました。お腹に1～2センチぐらいの小さな穴を開けて、二酸化炭素のガスを腹腔内に入れて膨らませ、内視鏡カメラやいろんな鉗子類を操作して行います。日本に腹腔鏡手術が導入されて約30年経ちます。最初は胆のう摘出術からスタートし、10年ぐらい前からは、消化管の手術ではまず腹腔鏡手術が第一に選択されるまでになりました。腹腔鏡の手術は人体に及ぼす影響がすくなく、開腹手術より術後の患者さんの負担も低いといわれています。術後の炎症の指標としての白血球の変化をみても、開腹手術翌日は15000（正常値は8000以下）ぐらいまで上昇することが多いのですが、腹腔鏡手術では、10000前後の上昇に抑えられ、さらに翌日には、ほぼ正常値まで戻ります。また、腸管の動きが戻ったサインである排ガス（おなら）も開腹術の場合は術後3日目ぐらいに出るのが一般的ですが、腹腔鏡手術では早い場合は手術の夜に出ることもあります。この理由は、腹腔鏡では体内に二酸化炭素ガスを入れてお腹を膨らませて手術を行うため、大気中の酸素に触れることがなく、組織の酸化が起こらないからです。

それが患者さんにとって、低侵襲になる理由です。中には「腹腔鏡手術は怖い」というイメージを持っている患者さんもおられますが、インフォームドコンセントを大切に、患者さん及びご家族の方に、腹腔鏡のメリット、デメリットを十分に説明した上で、手術を行いたいと思います。分からないこと、疑問に思われることは、どんどん質問してください。



外科 部長

佐藤 文平(さとう・ぶんぺい)

昭和60年5月 京都大学医学部付属病院 外科医員
昭和61年4月 大和高田市立病院 外科医員
平成元年8月 市立宇和島病院 外科医員
平成3年6月 京都大学医学部付属病院外科 非常勤医員
平成6年4月 社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 外科医員
平成6年9月 独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター 外科医員
平成9年4月 社会福祉夫人恩賜財団 大阪府済生会泉尾病院 外科副医長
平成11年4月 医療法人財団康生会武田病院 外科副部長
平成16年8月 医療法人財団康生会武田病院 手術室部長
平成25年4月 医療法人財団康生会武田病院 外科部長兼手術室部長
平成28年2月 宇治武田病院

現在に至る

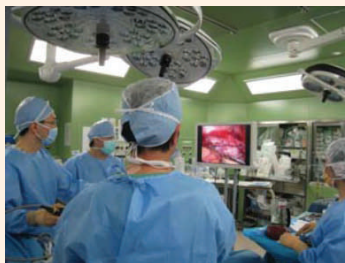
腹腔鏡手術の様子



◀さまざまなタイプの鉗子



◀先端が曲がるスコープ



◀モニターを見ながら



◀術中の患者さんの様子

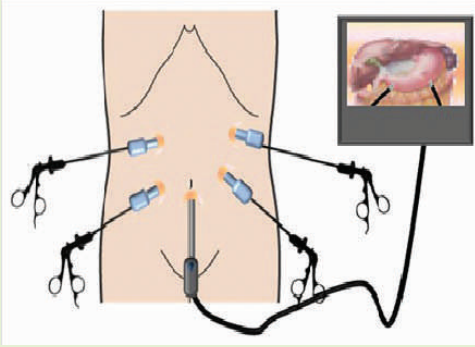
腹腔鏡手術のメリット・デメリット

腹腔鏡手術の最大のメリットは、手術の低侵襲性と傷の小さい美容性です。小さい傷なので創痛が軽減し、その結果、早期離床、入院期間の短縮が進みます。また、手術を行うスタッフに対してもメリットは多く、カメラを通して術野を全員で共有でき、拡大視効果で解剖が分かりやすく、手術の標準化（手技の統一）が進むことです。デメリットとしては、開腹手術に比べて時間、人数がかかること、開腹手術の経験が乏しい若い外科医の増加などが挙げられます。

最新の腹腔鏡システム導入

当院の外科部長に就任以来、医療機器、材料の一新や手術室スタッフとの勉強会、カンファレンスの開催など、手術が最大限スムーズに取り行えるよう工夫してまいりました。その中でも最大のイノベーションは腹腔鏡です。

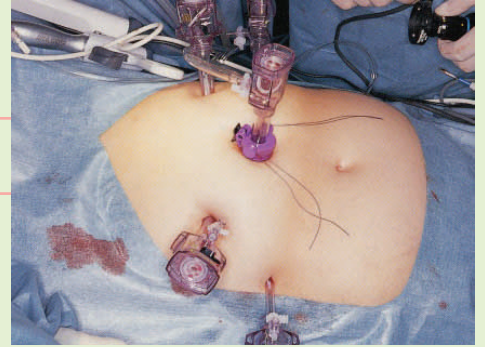
平成30年9月に最新式の腹腔鏡システムを導入し、良好な手術視野、手術環境の下で、安全でかつ迅速な手術を実施しています。



低侵襲な腹腔鏡手術

お腹の傷から
腹腔鏡や鉗子などを挿入

低侵襲で手術ができる



真剣なカンファレンスの徹底

手術前・後の症例に対して、総合内科、消化器内科、放射線科、検査科の専門医と週1回合同カンファレンスを行い、患者さんに最も適した手術、治療を検討します。退院の時期には、自宅での療養生活も含めて、退院支援や在宅介護などに関して多職種カンファレンスを行い、スムーズな社会復帰を実践します。

開業医のみなさまへ

私たちは、手術を受けられた患者さんが、当科で治療を受けてよかったと思われるような医療の提供を目指します。開業医の先生とはお互いの連携を強めて、地域の医療を盛り上げていきたいと願っています。なんでもご相談ください。お願いいたします。

外科外来表

	月	火	水	木	金	土
午前	佐藤 薄井	常勤医	佐藤 後藤	角	薄井 村田	第1・5 常勤医 第2・3・4 非常勤医
午後		上本 <small>(京都大学研習医・ 移植外科/小児外科 教授)</small>	村田		後藤	



副院長
薄井裕治
先生



部長
佐藤文平
先生



副部長
村田徹
先生



医長
後藤俊彦
先生

地域医療連携室

地域医療連携室に新しいメンバーが増えました。吉田と佐藤からご挨拶させていただきます。

吉田 耕也(社会福祉士)

病院勤務が初めてですが、患者様、ご家族様が安心して退院できますよう、心をこめて支援させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

佐藤 香苗(社会福祉士)

10月21日より地域連携室に着任致しました。地域の医療や福祉の連携を大切に、患者様が安心して退院できるよう支援していきます。よろしくお願い致します。

▼ 地域医療連携室(直通) TEL 0774-25-2062/FAX 0774-25-2660
E-mail renkei-u@takedahp.or.jp



吉田 耕也



佐藤 香苗

地域医療連携室新メンバーです
よろしくお願い致します